

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
子育て支援課 (保育分野)		医療的ケア児保育支援モデル事業 医療的ケア児の受入れを行う保育所に、医療機関との連携の下、看護師等を配置し、医療的ケアを実施する場合に要する経費を補助する。 〔補助率〕 国1/2、県1/4、〔市町村1/4〕 〔実施主体〕 市町村(政令・中核市を除く) 〔か所数〕 1か所 〔補助基準額〕(1か所あたり) 看護師等の配置 5,100千円 事業費 400千円
障害福祉課 (障害福祉)	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 〔主催〕障害者施設整備室 【医療的ケア児等コーディネーター養成研修】 〔日時〕平成30年10月15日～16日及び11月15日～16日の4日間 〔場所〕愛知県社会福祉会館 〔内容〕医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 〔修了者〕92名/47市町村(市町村から推薦を受けたコーディネーター)	医療的ケア児等コーディネーター養成研修 〔主催〕障害者施設整備室 【医療的ケア児等コーディネーター養成研修】 〔日時〕令和元年10月及び11月のうち、4日間(平日を予定) 〔場所〕愛知県社会福祉会館(調整中) 〔内容〕医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 〔参加者〕100名程度(市町村から推薦を受けたコーディネーター1～2名。)
障害福祉課 (障害福祉)		医療的ケア児者実態把握調査 〔主催〕障害者施設整備室 〔概要〕県内における医療的ケア児者の概数及び困りごとや施策ニーズを把握 〔時期〕(一次)平成31年4月～令和元年7月 (二次)令和元年8月～令和2年3月 〔備考〕名古屋市と合同で調査を実施
障害福祉課 (障害福祉)	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 〔主催〕障害福祉課 【喀痰吸引登録事務】 〔内容〕一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 〔登録事業所数(障害者総合支援法)〕平成30年4月1日現在 269件 ※介護保険法における登録は除く。	喀痰吸引等特定行為事業者の登録事務 〔主催〕障害福祉課 【喀痰吸引登録事務】 〔内容〕一定の研修を修了した介護職員等は喀痰吸引等特定行為事業者として登録を受けた事業者において、喀痰吸引等の行為を実施できる。 〔登録事業所数(障害者総合支援法)〕平成31年4月1日現在 301件 ※介護保険法における登録は除く。
医療療育総合センター (障害福祉)	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー 【遺伝療育講演会】 〔日時〕平成30年11月18日(日)13:30～16:30 〔場所〕刈谷市産業 振興センター 〔内容〕重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講義1「染色体・遺伝性疾患の最近の話題と疾患特性の理解」 2「病氣と向き合う子どもを支えること チャイルド・ライフ・スペシャリストの視点から」 3「染色体疾患・遺伝子疾患のあるお子さんに対する 作業療法～支援の実際について～」 〔参加者〕118名(内訳:障害児(者)の在宅医療にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など)	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター 【遺伝療育講演会】 〔日時〕令和元年12月7日(土)13:30～16:30 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義1 「染色体・遺伝性疾患の最近の話題と疾患特性の理解」 講義2 未定 講義3 「染色体疾患・遺伝子疾患のあるお子さんに対する作業療法～支援の実際について～」 〔参加者〕100名(内訳:障害児者の在宅医療にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など)
医療療育総合センター (障害福祉)	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー 【重症心身障害児(者)医療療育推進講演会】 〔日時〕平成30年7月14日(土)13:30～15:00 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕重症心身障害児(者)が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演「医療施設と地域との連携 ～学校における医療的ケアに焦点をあてて～」 〔参加者〕70名(内訳:重症心身障害児(者)短期入所利用支援事業指定事業者、生活介護・通園施設等関係施設の職員、県障害者相談支援アドバイザー)	障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター 【重症心身障害児(者)医療療育推進講演会】 〔日時〕令和元年7月13日(土)13:30～15:00 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕重症心身障害児(者)が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演 未定 〔参加者〕80名(内訳:重症心身障害児(者)短期入所利用支援事業指定事業者、生活介護・通園施設等関係施設の職員、県障害者相談支援アドバイザー)

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー 名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座との共催</p> <p>【第7回あいち小児在宅医療研究会】 〔日時〕平成30年12月9日(日)13:00～16:30 〔場所〕名古屋大学中診療棟3階講堂 〔内容〕県内の小児期発症の発達の障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会したあいち小児在宅医療研究会を実施することにより、相互に理解を深めて、小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。 テーマ 「在宅生活を豊かにする食事」基調講演 「子どもの摂食嚥下障害」 シンポジウム 「在宅生活を豊かにする食事」 ① 保護者「生きるための食事と楽しむ食事」② 作業療法士「楽しく安全に食べるために～作業療法士の視点から～」③ 栄養士「ストレスのない食事を考える」④ 小児外科医師「食べること」「生きること」重症児・者の栄養を考える 〔参加者〕365名(内訳:県内の病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務する看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター 名古屋大学障害児(者)医療学寄附講座との共催</p> <p>【第6回東海三県小児在宅医療研究会(第8回あいち小児在宅医療研究会)】 〔日時〕令和2年2月9日(日)13:00～17:15 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕県内の小児期発症の発達の障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会したあいち小児在宅医療研究会を実施することにより、相互に理解を深めて、小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。 ○テーマ「小児在宅のこれから、新しい潮流」(仮) ○基調講演「調整中」 ○シンポジウム「調整中」 ○総合討論 〔参加者〕400名(内訳:県内の病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務する看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など)</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)関係施設職員研修】 〔日時〕①〔主に尾張地区の方〕平成30年9月3日(月)②〔主に三河地区の方〕平成30年9月3日(月) 〔場所〕①②ウイルあいち 〔内容〕地域で重症心身障害児(者)の支援に携わる施設関係者が一堂に会し、地域支援の実態や課題の把握を行う。また、支援者間のネットワークを構築し、重症心身障害児(者)が地域で安心した生活を送ることができる体制の構築に繋げていく。(尾張・三河地区に分けて実施) 講義「重症心身障害児(者)の食事に関する基礎知識」情報交換「地域の関係施設との連携を深める」 〔参加者〕①37名②39名(内訳:重症心身障害児(者)に関わる職員、市町村福祉担当職員)</p>	
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)関係施設等職員実践基礎研修(介護職コース)】 〔日時〕平成30年5月26日(土)10:00～16:30 〔場所〕①コロニー管理棟講堂 〔内容〕重症心身障害児(者)への理解を深め、医療と生活支援について講義と実践を通して学び、介助技術の向上を支援する。 重症心身障害児(者)の生活支援～重症心身障害児(者)の基本を学ぶ～ 講義 「重症心身児(者)の理解」「重症心身障害児(者)の摂食・嚥下の基礎知識」「嚥下調整食について」 実践 「摂食嚥下の体験」 〔参加者〕28名(内訳:県内の重症心身障害児(者)に関心のある関係施設の介護職員)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児(者)関係施設等職員実践基礎研修(介護職コース)】 〔日時〕令和元年6月22日(土)10:00～16:30 〔場所〕総合センター講堂 〔内容〕重症心身障害児者への理解を深め、医療と生活支援について講義と実践を通して学び、介助技術の向上を支援する。 重症心身障害児者の生活支援～重症心身障害児者の基本を学ぶ～ 講義 「重症心身障害児者の摂食・嚥下の基礎知識」 「嚥下調整食について」 実践 「摂食嚥下の体験」 〔参加者〕20名(内訳:県内の重症心身障害児者に関心のある関係施設の介護職員)</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)関係施設等職員実践研修(看護職コース)】 〔日時〕平成30年6月23日(土)10:20～16:00 〔場所〕コロニー管理棟講堂こぼと学園 〔内容〕福祉施設で勤務する看護師が、重症心身障害児(者)の医療について理解を深め、地域で生活する障害者に安全、安心な支援ができるよう看護技術向上を支援する。 講義「呼吸障害がある重症心身障害児(者)への生活支援(看護職の立場から)」 「重症心身障害児(者)の呼吸理学療法の実際」 実践「ポジショニング」「呼吸介助」意見交換会 〔参加者〕20名(内訳:重症心身障害児(者)を受け入れている病院、関連施設等の看護師)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児(者)関係施設等職員実践研修(看護職コース)】 〔日時〕令和元年10月26日(土)10:20～16:00 〔場所〕総合センター講堂リハビリセンター 〔内容〕福祉施設で勤務する看護師が、重症心身障害児・者の医療について理解を深め、地域で生活する障害者へ安全、安心な支援ができるよう看護技術向上を支援する。 講義 調整中 「重症心身障害児者の呼吸理学療法の実際」 実践「ポジショニング」「呼吸介助」意見交換会 〔参加者〕20名(内訳:重症心身障害児(者)を受け入れている病院、関連施設等の看護師)</p>

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)の呼吸ケア研修】 〔日時〕平成30年11月4日(日)13:00～17:00 〔場所〕講義コロニー管理棟講堂 演習コロニー中央病院 〔内容〕重症心身障害児(者)の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対象法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講義「脳性麻痺、重症心身障害に合併した呼吸障害の病態と内科的管理法」「重症心身障害児(者)の問題に対する外科的治療」「脳性麻痺児に対する呼吸理学療法の実際」 演習 A 医療機器実習 B リハビリテーション実習 〔参加者〕A24人B15人(内訳:障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)の呼吸ケア研修】 〔日時〕令和元年11月24日(日)13:00～17:00 〔場所〕総合センター講堂中央病院リハビリセンター 〔内容〕重症心身障害児(者)の医療を行う上では、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対象法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講義「脳性麻痺、重症心身障害に合併した呼吸障害の病態と内科的管理法」(仮題)「重症心身障害児(者)の問題に対する外科的治療」(仮題)「脳性麻痺児に対する呼吸理学療法の実際」(仮題) 演習 A 医療機器実習 B リハビリテーション実習 〔参加者〕41名(内訳:障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士)</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)看護研修〔特別支援学校向け〕】 〔日時〕平成30年7月24日(火) 13:30～16:30 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕特別支援学校において年々増加する医療的ケアの必要な児童が、安心して学校生活が送れるよう、医療的ケアに関する知識を習得する。 講義 「重症心身障害児の看護」「重症心身障害児の口腔ケア」「呼吸理学療法について」 〔参加者〕51名(内訳:県内の特別支援学校に勤務する教諭・看護師・養護教諭)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児(者)看護研修〔特別支援学校向け〕】 〔日時〕令和元年7月26日(金)13:30～16:30 〔場所〕ウインクあいち 〔内容〕特別支援学校において医療的ケアを必要とする児童生徒は年々増加しており、安全を確保しケアを提供することが求められています。安心して学校生活を送れるよう医療的ケアに関する知識を習得する。 講義 「重症心身障害児者の栄養摂取の現状～食事を考える～」 「重症心身障害児者の呼吸障害～呼吸理学療法の実際～」 〔参加者〕50名(内訳:医療的ケアを必要とする児童生徒を支援する教諭・看護師・養護教諭・栄養教諭・栄養士・介護職員など)</p>
障害福祉課 (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児(者)看護研修〔訪問看護ステーション向け〕】 〔日時〕講義①平成30年7月29日(日)13:30～16:30 実習②平成30年8月27日(月)③平成30年8月28日(火)④平成30年8月29日(水)10:00～17:00 のいずれか1日 〔場所〕講義 ウインクあいち 実習 コロニー中央病院 〔内容〕小児の在宅人工呼吸器装着患者等のケア(観察と援助)と、その家族への関わり方を学び訪問看護に活かせるよう支援する。 講義 「在宅看護における基本的な関わり～医療ケアが必要な障害児・者への看護～」 「重症心身障害児・者の発達と看護」 「重症心身障害児・者の呼吸ケア」 実習 「呼吸、排痰介助、吸引、経管栄養、入浴介助、口腔ケア、人工呼吸器の取扱、カファシストの説明及び使用場面の見学、カニューレ交換、胃瘻交換の見学等」 〔参加者〕講義66名 実習18名(各日6名×3回)(内訳:訪問看護ステーションの看護師)</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児(者)看護研修〔訪問看護ステーション向け〕】 〔日時〕講義①令和元年8月25日(日)13:30～16:30 実習②令和元年8月26日(月)③令和元年8月27日(火)④令和元年8月28日(水)10:00～16:00のいずれか1日 〔場所〕①総合センター講堂 ②③④ 総合センター中央病院 〔内容〕小児の在宅人工呼吸器装着患者等のケア(観察と援助)と、その家族への関わり方を学び在宅での訪問看護に活かせるように支援する。 講義 「重症心身障害児(者)の看護の実際」「重症心身障害児の遊びの援助と家族支援」 「在宅人工呼吸器装着患者の看護」 実習 呼吸、排痰介助、吸引、経管栄養、入浴介助、口腔ケア、人工呼吸器の取扱、カファシストの説明及び使用場面の見学、カニューレ交換・胃瘻交換の見学等 〔参加者〕講義82名 実習18名(各日6名×3回)(内訳:訪問看護ステーションに勤務する看護師)</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク会議】 〔日時〕平成30年7月14日(土) 〔場所〕ウインクあいち 【目的】・医療ケアの必要な短期入所利用者・在宅困難者を受け入れるために、圏内の施設が分担・協力してセーフティーネットを築き、在宅の家族をサポートする。・重心関係施設の協力体制をつくり、療育を充実させる。・医療従事者の育成、研修活動の推進を図る。 【内容】・各施設および病院からの現状報告 ・愛知県障害医療連絡協議会の報告 ・実務者ワーキンググループ会議の報告 ・重症心身障害児者短期入所実施期間の一覧表について ・重症心身障害児者の実態調査 ・医療的ケア児支援専門部会の報告・その他 〔構成員〕愛知県医師会名古屋大学 国立東名古屋病院 国立豊橋医療療育センター青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター 名古屋市立西部医療センター 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや 一宮医療療育センター 信愛医療療育センター 豊田こども発達センター 大同病院 障害者地域生活支援センター杜の風 大府あおぞら有床クリニック 愛知県健康福祉部障害福祉課 名古屋市健康福祉局障害福祉部 コロニー</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業) 〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク会議】 〔日時〕令和元年7月13日(土) 〔場所〕ウインクあいち 【目的】 ・医療ケアの必要な短期入所利用者・在宅困難者を受け入れるために、愛知県内の施設が分担・協力してセーフティーネットを築き、在宅の家族をサポートする。 ・愛知県内の重症心身障害児者を支援するために関係施設等の協力体制をつくり、医療療育を充実させる。 ・医療従事者の育成、研修活動の推進を図る。 〔構成員〕愛知県医師会 名古屋大学医療学寄付講座 国立東名古屋病院 国立豊橋医療療育センター 青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター 名古屋市立西部医療センター 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや 一宮医療療育センター 信愛医療療育センター 豊田こども発達センター 大同病院 障害者地域生活支援センター杜の風 大府あおぞら有床クリニック 愛知県福祉局福祉部障害福祉課 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害支援課 医療療育総合センター</p>

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(相談支援担当者)】 〔日時〕【第1回】平成30年7月18日(水)【第2回】平成31年2月5日(火) 〔場所〕【第1回】豊橋医療センター【第2回】青い鳥医療療育センター 【目的】医療的ケアの必要な短期入所利用者・在宅困難者を受け入れるために、圏内の施設が分担・協力してセーフティーネットを築き、在宅の家族をサポートする。 【第1回】・豊橋医療センター見学・各施設の状況・重症心身障害児者短期入所実施期間の一覧表について 【第2回】・青い鳥医療療育センター見学・各施設の状況・重症心身障害児者実施期間の一覧表について 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター 三河青い鳥医療療育センター一宮医療療育センター ティンクルなごや 障害者地域生活支援センター杜の風 信愛医療療育センター コロニー愛知県健康福祉部障害福祉課</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(相談支援担当者)】 〔日時〕【第1回】平成元年8月8日(木)【第2回】未定 〔場所〕【第1回】愛知県医療療育総合センター【第2回】未定 【目的】医療的ケアの必要な短期入所利用者・在宅困難者を受け入れるために、県内の施設が分担・協力してセーフティーネットを築き、在宅の家族をサポートする。 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター 青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター 一宮医療療育センター ティンクルなごや 障害者地域生活支援センター杜の風 信愛医療療育センター 医療養育総合センター 愛知県福祉局福祉部障害福祉課</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(看護療育担当者)】 〔日時〕【第1回】平成30年6月19日(火)【第2回】平成30年11月5日(火) 〔場所〕【第1回】【第2回】とも青い鳥医療療育センター 【目的】愛知県内の重症心身障害児者を支援するため、関係施設等の協力体制を作り、療育を充実させること。 【第1回】・各施設の状況・「骨折予防」について 各施設での現状と取組み ・その他(抗原抗体検査について) 【第2回】・青い鳥医療療育センター見学 ・各施設の状況 ・その他 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター青い鳥医療療育センター三河青い鳥医療療育センター ティンクルなごや 一宮医療療育センター 信愛医療療育センター 訪問看護ステーションななみ 柘訪問看護ステーション こども訪問看護ステーションじん おかざき コロニー愛知県健康福祉部障害福祉課</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(看護療育担当者)】 〔日時〕【第1回】令和元年6月4日(火)【第2回】未定 〔場所〕【第1回】青い鳥医療療育センター【第2回】未定 【目的】愛知県内の重症心身障害児者を支援するため、関係施設等の協力体制を作り、療育を充実させること。 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター 青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター 一宮医療療育センター 名古屋市重症心身障害児施設 ティンクルなごや 信愛医療療育センター 訪問看護ステーションななみ 柘訪問看護ステーション こども訪問看護ステーションじん おかざき コロニー愛知県健康福祉部障害福祉課</p>
医療療育総合センター (障害福祉)	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕心身障害者コロニー</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(栄養部門担当者)】 〔日時〕【第1回】平成30年7月13日(金)【第2回】平成30年11月9日(金) 〔場所〕【第1回】心身障害者コロニー 【第2回】青い鳥医療療育センター 【目的】愛知県内の重症心身障害児者を支援するため、関係施設等の協力体制を作り、食事 形態や調理方法、摂食方法などの栄養に関する技術を充実させていく。 【内容】【第1回】・各施設の状況・研修「重症心身障がいのこととおとなのための栄養の役割」・こぼと学園見学「まとも食喫食の様子」・調理実習「まともペーストと、まともマッシュを作ってみる」・意見交換 【第2回】・青い鳥医療療育センターの概要説明・施設見学「食事の様子」・情報交換「全国重症心身障害児者施設職員研修(10月17日～19日)の報告」、「非常時の対応について ～突然の停電を経験して」 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター 青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター ティンクルなごや 一宮医療療育センター 信愛医療療育センター 名古屋市中央療育センター(わかさ学園) 豊田市こども発達センター コロニー愛知県健康福祉部障害福祉課</p>	<p>障害児者医療研修事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕医療療育総合センター</p> <p>【重症心身障害児者療育ネットワーク実務者会議(栄養部門担当者)】 〔日時〕【第1回】令和元年7月19日(金)【第2回】未定 〔場所〕【第1回】愛知県医療療育総合センター【第2回】未定 【目的】愛知県内の重症心身障害児者を支援するため、関係施設等の協力体制を作り、食事 形態や調理方法、摂食方法などの栄養に関する技術を充実させていく。 【構成員】国立病院機構東名古屋病院 国立病院機構豊橋医療センター 青い鳥医療療育センター 三河青い鳥医療療育センター ティンクルなごや 一宮医療療育センター 信愛医療療育センター 名古屋市中央療育センター(わかさ学園) 豊田市こども発達センター 医療療育総合センター愛知県福祉局福祉部障害福祉課</p>
医務課 (医療分野)	<p>小児在宅医療普及推進事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕(公社)愛知県医師会</p> <p>【小児在宅医療推進に係る調整会議】 〔開催回数〕年4回(4月、6月、12月、3月) 〔場所〕愛知県医師会館(4・6・3月)、名古屋大学医学部附属病院(12月) 〔内容〕県内全域の小児在宅医療を推進するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施 〔主な検討事項〕研修内容の策定・評価 〔構成員〕9名(内訳:愛知県医師会担当理事 等)</p>	<p>小児在宅医療普及推進事業(医療介護総合確保基金事業)</p> <p>〔主催〕(公社)愛知県医師会</p> <p>【小児在宅医療推進に係る調整会議】 〔開催回数〕年3回程度 〔場所〕愛知県医師会館 〔内容〕県内全域の小児在宅医療を推進するため、地域の小児在宅医療の代表者等により、研修内容の策定・評価等を実施 〔主な検討事項〕研修内容の策定・評価 〔構成員〕9名(内訳:愛知県医師会担当理事 等)</p>

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
医務課 (医療分野)	<p>【医療的ケア児に従事する医師向け研修】 [日時]平成30年10月14日(日)9時50分～17時 [場所]愛知県医師会館 [内容]診療所の医師等を対象として、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に係る研修会の開催 [参加者]63名(内訳:小児在宅医療に従事または従事予定の医師、看護師等)</p>	<p>【小児在宅医療に従事する医師向け研修】 [日時]令和元年10月22日(火)10時～17時(予定) [場所]愛知県医師会館 [内容]診療所の医師等を対象として、人工呼吸器や経管栄養等の医療的ケアを必要とする児の処置等に係る研修会の開催 [参加者]未定(対象:小児在宅医療に従事または従事予定の医師、看護師等)</p>
医務課 (医療分野)	<p>【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 (1)瀬戸(もーやっこジュニアの広場) [日時]平成30年10月6日(土)13時30分～16時30分 [場所]瀬戸蔵 [内容]医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会の開催 医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築等も目的とした交流の場の提供 [参加者]224名 (内訳:医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児、保護者、学生等)</p>	<p>【小児医療従事者ネットワーク構築研修】 (1)瀬戸(もーやっこジュニアの広場) [日時]未定 [場所]瀬戸蔵 [内容]医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会の開催 医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築等も目的とした交流の場の提供 [参加者]未定 (対象:医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児、保護者、学生等)</p>
医務課 (医療分野)	<p>(2)岡崎 [日時]平成30年11月17日(土)14時～18時 [場所]岡崎市医師会公衆衛生センター [内容]医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、多職種連携等によるケアに係る研修会の開催 [参加者]146名(内訳:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等) (3)半田 [日時]平成31年2月9日(土)14時～18時 [場所]半田市医師会健康管理センター [内容]医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、多職種連携等によるケアに係る研修会の開催 [参加者]32名(内訳:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等) (4)名古屋市南区 [日時]平成30年11月11日(日)13時～16時 [場所]だいでうクリニック [内容]医師、看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、小児在宅ケアにおける地域連携に係る研修会の開催 医療的ケア児及び保護者も参加し、保護者同士のネットワーク構築等も目的とした交流の場の提供 [参加者]306名 (内訳:医師、看護師、リハビリ職種、医療的ケア児、保護者、学生等)</p>	<p>(2)尾張北部 [日時]未定 [場所]未定 [内容]医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、多職種連携等によるケアに係る研修会の開催 [参加者]未定(対象:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等) (3)西三河南部西 [日時]未定 [場所]未定 [内容]医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、リハビリ職種等様々な関連職種を対象として、多職種連携等によるケアに係る研修会の開催 [参加者]未定(対象:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職種等)</p>
健康対策課 (保健分野)	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 <地域支援協議会> 年2回開催 1.平成30年9月3日(月)開催 議題 (1)愛知県における小児慢性特定疾病医療給付状況について (2)愛知県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業実施状況について (3)小児慢性特定疾病児童等とその家族を取り巻く課題について 2.平成31年2月1日(金)開催 議題 (1)愛知県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業実施状況について (2)移行期医療支援体制整備について (3)報告事項 ・医療的ケア児支援事業について ・成育基本法について 構成員:医療機関、患者・家族会、市町村(保健部門・福祉部門)、教育機関、保健所等 <研修会> 年1回開催、参加者44名 ・日時:平成30年8月17日(金)午後2時から午後4時まで 場所:ウィルあいち 3階 大会議室 内容:講演「地域の保健師だからできる自立支援を考える」 講師 京都府山城南保健所 所長 三沢あき子氏</p>	<p>小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 <地域支援協議会> 小児慢性特定疾病児童等の支援について検討予定。 <研修会> 地域保健機関で小児慢性特定疾病児童等の支援がより充実できるような目的で開催予定。</p>

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
(県) 保健所 (保健分野)	<p><関係機関連携会議> 【瀬戸保健所】 H30.10.29開催 議題 ・管内の小児慢性特定疾病医療給付申請及び医療的ケアが必要な児の状況について ・瀬戸保健所の事業内容について ・愛知県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業について ・就学している医療的ケアが必要な児の事例紹介 意見交換 「管内における医療的ケア児の就学の状況について」 構成員 有識者、管内市町職員(保健部門、福祉部門、教育部門)、児童発達支援事業所、県児童家庭課、保健所</p> <p>【半田保健所】 H30.11.29開催 1報告 ア愛知県の小児慢性特定疾病自立支援事業の状況 イ半田保健所管内の小児慢性特定疾病児の現状と保健所の取り組み 2情報提供「医療的ケア児の取り組みについて」 3意見交換 構成員:管内市町職員、県児童家庭課、保健所</p>	<p><関係機関等連携会議> 小児慢性特定疾病児童等自立支援について、各保健所で地域の実情に応じ開催予定。</p>
(県) 保健所 (保健分野)	<p>【衣浦東部保健所】 H31.3.1開催 テーマ:医療的ケア児等関係機関連絡会議 ①管内における小児慢性特定疾患及び医療的ケア児等の状況について ②保健所の事業内容及び医療的ケア児等の災害時の対応について ③医療的ケア児等の就園・就学・生活支援に関する取組について (1)事例紹介 (2)各関係機関の取組及び課題について 構成員:管内医療機関の医師・薬剤師、MSW、訪問看護ステーションNS、相談支援事業所、管内市職員(教育、保育、母子、障害福祉)児童相談センター、保健所</p> <p><事例検討会> 【衣浦東部保健所】 H30.12.11開催 テーマ:「人工呼吸器を装着して退院となった1歳児への支援について～医療的ケア児とその家族への支援において保健師として大事にしたい視点について～」 構成員:有識者、市保健師、保健所</p>	
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分野)	<p>医療的ケア事業(医療的ケア連絡協議会) [主催]県教育委員会</p> <p>【愛知県立特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 [開催回数]年3回(6/7、10/9、2/8) [場所]東大手庁舎402会議室 等 [内容]愛知県立特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 [主な協議事例]各校からの審議事項 [構成員]32名(内訳:医療的ケア実施校(校長)、愛知県医師会(学校保健部会代表及び看護師団体等(代表)) 等)</p>	<p>医療的ケア事業(医療的ケア連絡協議会) [主催]県教育委員会</p> <p>【愛知県特別支援学校における医療的ケア連絡協議会】 [開催回数]年3回(6/6、10/23、2/6) [場所]本庁舎第7会議室 等 [内容]愛知県内の特別支援学校において実施すべき医療的ケアの内容及び実施・連絡体制並びに緊急時の対応方法等の協議 [主な協議事例]各校からの審議事項 [構成員]38名(内訳:医療的ケア実施校(校長)、愛知県医師会(学校保健部会代表及び看護師団体等(代表)) 等)</p>

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	医療的ケア事業(指導医の派遣) 〔主催〕県教育委員会	医療的ケア事業(指導医の派遣) 〔主催〕県教育委員会
	【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 〔回数〕年2回(時期:各県立特別支援学校で設定) 〔場所〕各県立特別支援学校 〔内容〕県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施 するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職 員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 〔主な協議事例〕医療的ケアに関する事例検討等 〔構成員〕12名(医療的ケア実施校12校に各1名)	【愛知県立特別支援学校への指導医の派遣】 〔回数〕年2回(時期:各県立特別支援学校で設定) 〔場所〕各県立特別支援学校 〔内容〕県立特別支援学校において実施される医療的ケアを、安全かつ円滑に実施 するため、小児科医等を学校に派遣し、医療的ケアに関する指導・助言、教職 員及び看護師への医療的ケアの基礎知識に関する研修等を実施する。 〔主な協議事例〕医療的ケアに関する事例検討等 〔構成員〕11名(医療的ケア実施校11校に各1名)
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	医療的ケア事業(医療的ケア研修会) 〔主催〕県教育委員会	医療的ケア事業(医療的ケア研修会) 〔主催〕県教育委員会
	【平成30年度医療的ケア研修会】 〔開催回数〕年1回(8/3) 〔場所〕愛知県本庁舎第7会議室 〔内容〕愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭 及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 〔講義〕てんかんについて 〔講師〕あいち小児保健医療総合センター 総合診療科・神経科医長 鈴木基正 先生 〔参加者〕92名(教員、養護教諭、看護師)	【平成31年度医療的ケア研修会】 〔開催回数〕年1回(8/2) 〔場所〕愛知県三の丸庁舎大会議室 〔内容〕愛知県立特別支援学校において、校内で調整的な役割を果たす教員、養護教諭 及び看護師を対象に医療的ケアの知識と技術の理解を目的とした研修を行う。 〔講義〕医療的ケア実施の現状と課題について 〔講師〕愛知県医療療育総合センター中央病院 副院長 三浦清邦 先生 〔参加者〕95名(教員、養護教諭、看護師)
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	常勤看護師の配置 〔主催〕県教育委員会	常勤看護師の配置 〔主催〕県教育委員会
	【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師(正規看護師) を配置する。 〔報酬支給人数〕7名 〔その他〕 ・肢体不自由特別支援学校7校に各1名、計7名を配置。	【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う常勤看護師を配置する。 〔報酬支給人数〕7名 〔その他〕 ・肢体不自由特別支援学校7校に各1名、計7名を配置。
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	医療的ケア事業(看護師の配置) 〔主催〕県教育委員会	医療的ケア事業(看護師の配置) 〔主催〕県教育委員会
	【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 〔報酬支給人数〕20名 〔その他〕 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。	【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 〔報酬支給人数〕30名 〔その他〕 ・国庫補助を活用している非常勤看護師。

愛知県における医療的ケア関連事業の取組実績及び実施見込み

資料3-3

関係部署	平成30年度取組実績 事業名(取組内容)	令和元年度実施見込み 事業名(取組内容)
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	非常勤看護師の配置 〔主催〕県教育委員会 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 〔報酬支給人数〕35名 〔その他〕 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。	非常勤看護師の配置 〔主催〕県教育委員会 【愛知県立特別支援学校への看護師の配置】 〔内容〕愛知県立特別支援学校において医療的ケアを行う非常勤看護師を配置する。 〔報酬支給人数〕35名 〔その他〕 ・教員定数を活用して配置している非常勤看護師。
教育委員会 特別支援 教育課 (教育分 野)	インクルーシブ教育システム推進事業 〔主催〕国、県教育委員会 【市町の医療的ケアを行う看護師配置への補助】 〔内容〕障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が可能な限り共に学ぶ「インクルーシブ教育システム」の推進のため、市町村立学校に在籍する児童生徒への医療的ケアを行う看護師等にかかる経費について補助する。 〔補助対象経費〕市町村が小中学校及び市町村立特別支援学校に配置する医療的ケアのための看護師に係る経費 〔補助対象市町〕10市町 稲沢市、瀬戸市、小牧市、清須市、蟹江町、安城市、豊川市、犬山市、扶桑町、西尾市 〔補助対象看護師数〕21人 〔補助対象限度額〕1市町村あたり2,100千円(県費補助額700千円) 〔負担割合〕国:県:市=1:1:1	
県民文化部 学事振興課 私学振興室 (教育分 野)	私立幼稚園特別支援教育費補助金 〔目的〕障害児を就園させている私立幼稚園の経常的経費に対して補助し、特別支援教育の充実を図る。 〔補助額〕学校法人 障害児1人あたり:784,000円 非学校法人 " :274,400円 〔障害の種類〕視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害(医療的ケア児に限らない) 〔H30予算対象人数〕1,106人	私立幼稚園特別支援教育費補助金 〔目的〕障害児を就園させている私立幼稚園の経常的経費に対して補助し、特別支援教育の充実を図る。 〔補助額〕学校法人 障害児1人あたり:784,000円 非学校法人 " :274,400円 〔障害の種類〕視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害(医療的ケア児に限らない) 〔H31予算対象人数〕1,106人